

ふうきんとう

瞳きらきら にこにこ笑顔

十日町市立下条小学校
令和5年2月3日
学校だより第10号

夢や希望をもつ

校長 戸田 孝之

熱気は少しずつ冷めてきているとはいえ、昨年末のサッカー、ワールドカップでの日本代表の活躍はまだ記憶に新しいところです。大活躍の日本選手をはじめ、各国の複数の選手がインタビューで話していたことが、「子どもたちに夢や希望を与えたい。」ということでした。

先月号では、目標をもち続けることの大切さについて書きましたが、夢があるから明確な目標がもてる、明確な目標があるから希望がもてる、ということもできそうです。先月号でお示した児童アンケート「将来の夢や希望をもっている。」の肯定的評価は、1学期91.8%、2学期92.6%と高い数値でありました。しかし、逆の見方をすれば、約7~8%のお子さんは「もって（もてて）いない」ということになります。ちなみに、昨年4月に6年生を対象に実施した全国学習状況調査では、質問が「将来の夢や目標をもっていますか。」と少し表現が異なりますが、当校6年生の肯定的評価は76%（全国79.8%、県80.1%）でした。

最近では様々な企業等が「将来就きたい職業」のアンケートを実施し、その結果を発表しています。それぞれの発表で結果も様々ですが、ベネッセコーポレーションが昨年12月に発表したベスト3は以下の通りでした。

《小学校男子》

- ①ユーチューバー
- ②ゲームクリエイター、プログラマー
- ③野球選手

《小学校女子》

- ①漫画家、イラストレーター
- ②芸能人
- ③ユーチューバー



この結果を見ながら、なんと喜ばしいことに男子の6位、女子の5位が『学校の先生』となっています。いろいろなアンケート結果を見ながら、近年は（特に男子で）あまり目にする事のなかった“この職業”がこんな上位に入っているとは……。このところ何かと“ブラック”視されることの多い教員ですが、ぜひ多くの子どものための“夢”になってほしいと願っています。

ややこじ付け的ですが、以下に示す詩は、夢や希望、目標をもたせるうえでちょっとした参考になるかもしれません。（アメリカの教育学者であるドロシー・ロー・ノルトさんの詩です。令和2年7月号でも紹介させていただきました。）

『子ども』

- 批判ばかりされた子どもは、非難することをおぼえる
殴られて大きくなった子どもは、力にたよることをおぼえる
笑いものにされた子どもは、ものを言わずにいることをおぼえる
皮肉にさらされた子どもは、鈍い良心のもちぬしとなる
しかし、激励を受けた子どもは、自信をおぼえる
寛容にであった子どもは、忍耐をおぼえる
賞賛を受けた子どもは、評価することをおぼえる
フェアプレーを経験した子どもは、公正をおぼえる
友情を知る子どもは、親切をおぼえる
安心を経験した子どもは、信頼をおぼえる
可愛がられ抱きしめられた子どもは、世界中の愛情を感じとることをおぼえる

